

# きみつ市議会 だより



## 第3回定例会

発行／君津市議会  
編集／きみつ市議会だより  
編集委員会

### CONTENTS

- 2 正副議長・  
委員会委員などを選出
- 3 第3回定例会のあらまし
- 4 議案等の審議結果
- 5 一般質問Q&A  
(13議員が質問)
- 10 委員会の焦点
- 12 決算審査特別委員会の概要



## きみつの地酒で乾杯!



君津市  
マスコットキャラクター  
きみぴん

10月3日、保健福祉センターふれあい館で、市内の6蔵及び富津市の2蔵の「かずさ八蔵」と「はちみつ工房」が出店した「第8回きみつの地酒まつり」が開催されました。会場では、各蔵自慢の50種類以上の地酒に加え、ウイスキー、ミードの試飲や利き酒コーナーが設けられたほか、キッチンカーなども出店し、大勢の人で賑わいました。君津市は千葉県内最多の酒蔵を有し、酒造りが盛んなことから平成26年10月1日に「きみつの地酒で乾杯を推進する条例」※を施行し、君津市にゆかりのあるお酒（地酒）による乾杯を推進しています。

※この条例は、地域経済の発展に寄与することを目的としています。個人の嗜好、意思を尊重しており、乾杯を強制するものではありません。

# 正副議長・委員会委員などを選出

## 正副議長就任あいさつ



議長  
小倉 靖幸

私どもは、令和7年9月の市議会定例会において、第31代議長ならびに副議長に就任いたしました。その職責の重さに身が引き締まる思いであり、改めて市政の発展と市民福祉の向上に誠意、努力してまいります。



副議長  
松本 裕次郎

議会は、住民自治の根幹をなす機関として、市の施策や計画などに関する最終的な意思決定機関及び行政の監視機関であり、また、政策立案の能力向上についても求められており、その職責は重大であります。

君津市においては、喫緊の課題である人口減少対策、地域活性化、公共施設やインフラの老朽化対策など、中長期的に解決しなければならぬ課題も多く、二元代表制の一翼を担う市議会として、しっかりとその役割を果たしてまいれる所存であります。

君津市議会といたしましては、さらなる活性化と開かれた議会を目指し、市民の皆様の声を広く集め、行政と車の両輪となって、住みやすく、また、君津市に移り住んでいただけるよう、まちづくりに取り組みまいりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 各委員会等構成議員名簿

※ ◎委員長 ○副委員長

### 総務常任委員会

◎佐藤 葉彦  
○四宮 安彦  
大和 ヒロシ  
石上 一  
三浦 道雄  
保坂 好一  
小林 喜久男

### 教育福祉常任委員会

◎鶴岡 浩一  
○大滝 介成  
林 祥子  
満 琢也  
鈴木 高也  
野上 慎章  
三浦 大

### 建設経済常任委員会

◎田 吾  
○笠 幸  
小倉 靖  
小 裕次郎  
松本 紀  
高橋 明

### 議会運営委員会

◎野上 慎治  
○天竺 等  
鶴岡 一  
石上 葉  
佐藤 一  
保坂 一

### 監査委員

保坂 好一

### かずさ水道広域連合企業団議会

鶴岡 一  
石上 明  
高橋 等

### 君津郡市広域市町村圏事務組合議会

小倉 靖幸  
佐藤 葉子

### 君津中央病院企業団議会

下田 劍章  
三浦 吾

### 君津富津広域下水道組合議会

大和 ヒロシ  
四宮 安彦  
松本 裕次郎  
野上 慎治  
三浦 道雄  
小 喜久男  
林 喜久男

### 千葉県後期高齢者医療広域連合議会

高橋 健治

### 消防委員会

林 祥子  
満 琢也  
小倉 等  
天竺 一  
鈴木 大

# 財産の無償譲渡など 議案26件、陳情3件を議決

第3回定例会は、9月2日から9月30日までの29日間の会期で開かれました。

今定例会では、財産の無償譲渡など市長提出の21議案、令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定等の5件、陳情3件を審議し、慎重審議の結果、陳情2件が趣旨採択、陳情1件を不採択とし、そのほかは原案のとおり可決・同意・認定されました。

一般質問では、13人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

### 主な日程

第3回定例会（9月）	
9/2(火)	本会議（招集日） 諸般の報告、会期の決定、議案等の上程など
5(金)	本会議
8(月)	一般質問
9(火)	本会議 一般質問、決算審査特別委員会の設置、委員会付託など
10(水)	総務常任委員会
11(木)	教育福祉常任委員会
12(金)	建設経済常任委員会
30(火)	本会議（最終日） 委員長報告、討論、採決、追加議案の上程、正副議長などの選挙、常任委員・議会運営委員などの選任 など

## 反対

## 本会議における主な討論

## 賛成

- ・都市計画の変更は都市計画審議会への諮問や市民意見の聴取などの一連の手続きを経る必要があるが、本議案を審議する前に行われるべきものであると考える。
- ・経常収支比率が悪化する中、財産を無償で譲渡することについては再考を要すると考える。

水道・火葬場・廃棄物処理などの事業の広域化、民営化が行われており、地方自治体の固有の責任を放棄することにつながるため賛成できない。

### 議案第13号

### 財産の無償譲渡について

都市計画の変更は前提となる事業があって初めて議論の俎上に上がるものであり、適切な順序で手続きが進められているものと考えます。

### 認定第1号

### 令和6年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について

扶助費等の増加により財政の硬直化が進んでいるものの、市税の徴収率向上や国県交付金の活用など、歳入確保の取組がなされていること、歳出においては重点取組施策をはじめ適切に執行され、その目的を達成しているものと理解する。



ここに生前を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

**奈良輪 政五議員ご逝去**  
市議会議員 奈良輪 政五氏は、去る8月28日逝去されました。享年77歳。  
故奈良輪議員は、平成27年9月、市議会議員に当選して以来、連続3期在職され、この間、市議会副議長をはじめ、議会運営委員長や経済環境常任委員長などを歴任されました。

## 人事案件に同意

- ◆人権擁護委員 鈴木 克之(空 師)
- ◆農業委員会委員 石和田 勉(日渡根)  
重田 弘己(東栗倉)
- ◆監査委員 保坂 好一(南久保)  
(議員選任)



## 出席議員全員が賛成した議案等（全会一致）

### ◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第12号	君津市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消しについて
議案第2号	農業委員会委員の任命について	議案第14号	旧清和公民館解体工事請負契約の締結について
議案第3号	農業委員会委員の任命について	議案第15号	損害賠償の額の決定及び和解について
議案第4号	君津市議会議員及び君津市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第16号	令和7年度君津市一般会計補正予算（第4号）
議案第5号	君津市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第17号	令和7年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第6号	一般職の職員の特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	議案第18号	令和7年度君津市介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第7号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	議案第19号	令和7年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第10号	君津市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	議案第20号	令和7年度君津市一般会計補正予算（第5号）
議案第11号	君津市が管理する市道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議案第21号	監査委員の選任について
		認定第5号	令和6年度君津市農業集落排水事業会計決算の認定について

### ◆陳情

陳情番号	件名
陳情第7号	林地開発に関する陳情書
陳情第8号	再生資源物の屋外保管に関する条例の制定を求める陳情

※陳情第7号、第8号は趣旨採択について諮りました。

## 賛否の分かれた議案

### ◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	創政会							令和新政					きみつ未来		公明党		議派				
			大滝 浩介	四宮 安彦	鈴木 高大	下田 剣吾	保坂 好一	高橋 明	小林 喜久男	小倉 靖幸	小倉 広紀	大和 ヒロシ	天笠 一成	鶴岡 一	三浦 章	満武 琢也	石上 壘	松本 裕次郎	高橋 健治	佐藤 葉子	野上 慎治	三浦 道雄	林 祥子
議案第8号	君津市民民スポーツ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第9号	君津市民文化ホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	財産の無償譲渡について	○可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和6年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和6年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和6年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和6年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対

## 不採択とした陳情

陳情番号	件名
陳情第9号	わが家（生家の建造物）の君津市への寄贈と市有地への移設と管理・活用をお願いする陳情

## 一般 質問

# Q & A

第3回定例会において、13人の議員が質問を行いました。各議員の質問の大綱については下記のとおりです。(通告順)  
 マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。  
 なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

### 小倉 広紀 議員

P.6

令和新政

- 市職員等の働き方改革について
- ファシリティマネジメントについて
- 福祉行政について
- 選挙について
- 安心して暮らせるまちづくりについて

### 佐藤 葉子 議員

P.6

公明党

- 子どもたちの健やかな成長のために
- 安心・安全なまちづくりについて
- 安心して歳を重ねることが出来る「幸齢社会」づくりについて

### 鶴岡 一成 議員

P.6

令和新政

- 消防本部及び消防団について
- 行政運営について
- 農業の発展について
- 都市公園整備について
- J R久留里線問題について

### 大和 ヒロシ 議員

P.7

令和新政

- 快適で安心して暮らせるまちについて
- ともに創る次世代につながるまちについて

### 四宮 安彦 議員

P.7

創政会

- さらなる発展を目指していく君津市について
- 安心して生活できる君津市を目指して
- J R久留里線について

### 大滝 浩介 議員

P.7

創政会

- 千葉ロッテマリーンズファームを生かしたまちづくりについて
- 誰もが安心して暮らせるまちについて
- 安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまちについて

### 下田 剣吾 議員

P.8

創政会

- 市長公約について
- 直面する課題について
- 活性化について

### 保坂 好一 議員

P.8

創政会

- 公共施設等の防災体制と維持管理の在り方について
- 内みのわ運動公園の今後の展開について
- 安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまちについて
- 財政について

### 満武 琢也 議員

P.8

きみつ未来

- 安心して子育て・子育てできるまちについて
- ネット犯罪・詐欺被害防止について
- 市民の命を守る対策について
- 市職員のよりよい職場環境の整備について
- 災害対策について

### 野上 慎治 議員

P.9

公明党

- だれもが安心して生活できる社会の構築について
- 特色ある教育の推進について
- 平和意識の向上について

### 天笠 等 議員

P.9

令和新政

- 安心・安全なまちづくりについて
- 高齢者福祉について
- 魅力あるまちづくりについて

### 三浦 道雄 議員

P.9

諸派・日本共産党

- 市長の政治姿勢について
- 医療・福祉行政について
- 環境行政について

### 林 祥子 議員

P.10

諸派・希望にみらい

- J R久留里線について
- 千葉ロッテマリーンズファーム本拠地の誘致について



令和新政  
小倉 広紀 議員

### ハラスメント対策

**Q** 全職員を対象に実施したアンケートで、ハラスメントを受けた相手として挙げられたものの内訳を伺う。

**A** 直近3年間で、市民64件、上司62件、先輩・同僚等47件、議員が5件となっている。

**Q** アンケートを定期的に実施することは有効かつ大切。県ではこういったアンケートを毎年行うとのことであるが、本市の対応を伺う。

**A** 実情をチェックするため、定期的に実施していく。

### 投票区等の再編

**Q** 投票区統合から20年程経過した。統合から人口は1万人以上減少しており、再編を進める必要があると思うが、見解を伺う。

**A** 近年は期日前投票の利用者が増加し、選挙当日の投票者数が減少していることなどを踏まえ、投票区の在り方について調査研究していく。

### 民生委員等選出の柔軟な運用

**Q** 担い手不足対策として、2地区から各1人というものを、2地区から2人選出するといった柔軟な運用ができないか、見解を伺う。

**A** 候補者を募る際に対象者の幅が広がるため、有効な手法であると考ええる。



公明党  
佐藤 葉子 議員

### 命を大切に「いのちの安全教育」の推進

**Q** 性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないために命の尊さを学び、誤った認識や行動を正しく理解する「いのちの安全教育」が全国展開されているが、本市の取組状況を伺う。

**A** 文部科学省が作成している手引きを参考に、発達段階に応じた丁寧な指導を行っている。

### 学校体育館へのエアコン設置は必須

**Q** 体育授業や部活動など体育館での熱中症リスクが増しており、災害時は避難所としての機能も果たさなければならぬ。国の補助制度を活用した具体的なスケジュールを示すべきだが、見解を伺う。

**A** 記録的な猛暑が続く中、必要性は認識している。設置に係る様々な課題について関係部署とも協議を重ねながら、よりよい教育環境の整備に向けて調査研究していく。

### 終活登録制度の創設

**Q** 死後の手続きや葬儀を行ってくれる近親者がいない問題が増加している。生前の意思の実現につなげるため、エンディングノートの保管場所やお墓の所在地などの終活関連情報を生前に登録する制度の創設について見解を伺う。

**A** 国の動きを注視し、自治体の先進事例や終活関連課題等の情報収集に努める。



令和新政  
鶴岡 一成 議員

### ボールパーク構想

**Q** 市長のボールパーク構想において視察前後で考え方の違いが生まれたのか伺う。

**A** まちづくりの視点では、早い段階で将来のビジョンを示すことの重要性を確認した。また、スポーツ施設には雇用や教育、地域交流、地球温暖化といった社会課題の解決に資する力があること、加えて集客力を生かして新たなビジネスを生み出す可能性があることを現地で改めて実感した。日本一の、世界にも誇れるファーム施設を君津に建設するという思いで、今後、ボールパークを核とした都市づくりを着実に進め、その効果を市全体に広く波及させていく。

### 消防団の訓練

**Q** 日本中で操法大会の在り方が変化してきているが、各支団において操法以外の訓練をどのようにしているのか伺う。

**A** 毎年事業計画を策定し、各支団で規律訓練や中継送水訓練などを企画し実施している。今年度は操法訓練に代わる実践的な訓練として、実火災を想定した水出しによる消火戦術訓練を各支団合同により実施した。今後も、様々な災害を想定した訓練を計画するなど、消防団員の技術の低下を招かないよう取り組む。



令和新政  
やまと  
**大和**  
ヒロシ 議員

### 次代のスポーツ「eスポーツ」

**Q** 国民スポーツ大会に採用する検討に入ったことも報じられたeスポーツについて、本市で今後活用していく考えがあるのか伺う。

**A** 新たな交流や地域活性化の手段として注目されているが、健康への影響等、様々な課題もあり、国においても科学的な知見を集めつつ健全な競技環境の整備を進めているため、本市としては今後の動向を注視していく。

### 共同親権の周知

**Q** 市での共同親権の周知について伺う。

**A** 令和6年5月に民法等改正法が成立し、令和8年5月までに施行されることとなっている。この法改正により離婚後の父母双方を親権者として定めることができる「共同親権」の選択も可能となる。本市においては法改正の適切な理解が図られるよう、丁寧な情報の提供に努めていく。

### 防災行政無線が聞こえない

**Q** 家屋内では防災無線が聞こえない地域がある。家屋内でも聞こえなければ迅速かつ確実な情報伝達は難しいと考えるが、見解を伺う。

**A** 防災行政無線は屋外の住民への情報伝達手段とされている。防災アプリ、SNS、メール配信等多様な手段を組み合わせ、市民の皆様に必要な情報を確実にお届けできるよう努めていく。



創政会  
しみや  
**四宮**  
やすひこ  
**安彦**  
議員

### 健全な財政

**Q** 財政力指数が上がっているにも関わらず経常収支比率が上昇しており、経営判断が間違っていると感じる。企業版ふるさと納税は待ちの姿勢から積極的に寄附をお願いしていくなど、歳入確保にもっと真剣に取り組んでいく姿勢が必要と考えるが、見解を伺う。

**A** ふるさと納税や受益者負担の適正化、ネーミングライツなどにより市税以外の自主財源の確保に努めていく。これからは自治体も稼いでいく意識が必要になると考えている。

### 入札制度

**Q** 建設工事等の入札には最低制限価格が設定されているが、業務委託等に設定されていない理由を伺う。

**A** 本市では工事に関わるものは国の算定式を基に設定しているが、業務委託等に関しては基準がないため設定していない。

### JR久留里線の今後

**Q** 本市が当該区間の廃線をどのタイミングで決定したのか伺う。

**A** 廃線の判断は運行主体であるJR東日本が行うものであるため、同社がバスを中心とした交通への転換を正式に表明したことを受け、市としては地域に移動手段の空白が生じないように同社と協議を重ねてきたところである。



創政会  
おたき  
**大滝**  
こうすけ  
**浩介**  
議員

### ボールパーク整備

**Q** 概算事業費は約150億円と試算されているが、資金調達方法を伺う。

**A** 国の補助金や地方債を活用するほか、企業版ふるさと納税やネーミングライツ等民間資金の導入を検討している。また、市が負担した整備費用は球団から応分の使用料の負担を求める。

### 市街化調整区域のコミュニティ維持

**Q** 他市では既存集落維持・改善のため、空き家の利活用を緩和し、賃貸にて戸建て住宅や店舗を貸し出す事例もある。愛知県岡崎市の地区計画を参考に進めてはどうか伺う。

**A** 市街化調整区域における地区計画のガイドラインを年度内に策定予定であり、まちづくりふれあい講座等を活用して周知していく。

### 初めて要介護認定を受ける方

**Q** 認定審査期間の短縮を望む声が聞かれるが、現状と今後の課題を伺う。

**A** 令和5年度の平均は45・5日で、主治医意見書の取得や審査会開催までの事務処理が課題。

### 暑さをしのぐ子ども居場所

**Q** クールシェアスポット等のうち、子どもの利用を促進している施設はあるのか伺う。

**A** 子どもに特化した案内はないが、市民が気軽に涼しさを共有する場所として案内している。



創政会  
しもだ  
下田

けんご  
剣吾 議員

### 市長公約「周南公民館建替え」を守って

**Q** 市長は「公約は任期中に果たす」と答弁したが、老朽化した公民館をいつ建替えるか伺う。

**A** 学習拠点や避難所でもある周南公民館の整備時期等は既存の公共施設の状況等を勘案して検討していく。

### 免許返納しバス停まで遠い市民に対策を

**Q** 公約「にぎわいを創る。」について、清和地区での取組と課題について伺う。

**A** 高校進学の選択肢を広げるため、路線バス「周西線」を小糸から清和公民館まで延伸した。

**Q** 免許を返納し病院や買物に行けない市民がいる。奥米から新しい路線にどう乗るのか伺う。

**A** 移動需要を踏まえ、交通事業者等と連携し、今後の交通体系の構築に向け取り組んでいく。

### 子育て支援に産前産後ヘルパー導入を

**Q** 多くの市が子育て支援に産前産後ヘルパーを導入した。本市も実施すべきだが見解を伺う。

**A** 実施内容の検討や財源の確保など課題がある。国の動向を注視しながら、引き続き検討していく。

今回試算された事業費 (設計、建設、監理等)	
周南公民館	約6億3千万円
小糸公民館	約8億5千万円
小櫃公民館	約7億6千万円

下田作成

産前産後ヘルパー制度	
導入	木更津、袖ヶ浦、富津
未導入	君津市

下田作成



創政会  
ほしかわ  
保坂

よしかず  
好一 議員

### 令和8年度の予算編成

**Q** 令和8年度の予算編成における基本的な考え方について伺う。

**A** 社会的に支援を必要とされる方々に寄り添う扶助費を確保するために、あらゆる経費を精査し、財源の捻出に努めている。「オール君津」で負担を分かち合う「人に優しい予算」とするとともに、シビックプライドを醸成する事業を着実に推進し「未来を切り開く予算」を編成していく。

### 公共施設の消防設備点検後の在り方

**Q** 令和6年度以降に消防用設備等改修通知書を送付した施設のうち、不備事項等改修報告書が提出されていない施設に対してどのような対応を取っていくのか伺う。

**A** 既に報告書の提出を求め、全ての施設から報告を受けている。不備事項はその内容から多岐にわたるため、設備によっては改修までに相当の期間を要するものもあると認識している。利用者が施設を安全・安心に利用できるような適正な維持管理を行うことが重要と考えている。

### 市民体育館の施設整備

**Q** 体育館の冷暖房の導入、弓道場の雨風を防ぐひさしの取り付けと床板の損傷について伺う。

**A** 冷暖房は民間活力を導入した整備を検討。弓道場は7年度中にひさしを設置する予定であり、床板の補修は指定管理者と協議していく。



きみつ未来  
みつたけ  
満武

たくや  
琢也 議員

### 多胎児の育児・保育支援

**Q** 今後、保育園などの入所選考に関わる多胎児世帯への配慮、支援などができないか伺う。

**A** 現在、既にきょうだいが通園している場合や、新規で3人以上のきょうだいが同時に申込みする場合に加点をしているが、令和8年度から多胎児を含めきょうだいが同じ保育園等に通えるよう、優先入所の取扱いを拡充していく。

### 高齢者の詐欺被害対策

**Q** 特殊詐欺対策として、国際電話の利用休止を設定できるサービスがあり、携帯キャリアや警察等で申込みできる。警察と連携し、目標数を決めて取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

**A** 市では、第3次君津市犯罪のない安全で安心なまちづくり計画において、電話de詐欺の発生件数を令和8年度までに6件以下とする目標を定めている。今後も君津警察署と連携し、制度の普及について支援していく。

### 災害時トイレの防災強化

**Q** 災害派遣トイレネットワークプロジェクトに関して、全国や近隣市の参加状況を伺う。

**A** トイレトレーラーを導入し、本プロジェクトに参加している自治体は県内では本市のみ、全国では、36自治体に参加しており、今年度末には57自治体となる予定と聞いている。



公明党  
野上 慎治 議員

### 地域共生社会の構築を！

**Q** 地域共生社会を築くには、多くの人にリンケージャーになってもらうことが確実な方法であると考えるが、見解を伺う。

**A** リンケージャーは、支援を必要とする人と地域・社会資源の橋渡しをする人で、今後も重要度を増してくと考えている。

### 今こそ、手話の啓発を！

**Q** 日本で初めてのデフリンピックが開催される。この機会に手話への関心を高め、挨拶ぐらいできるようにすることが共生社会を推進するために重要と考えるが、見解を伺う。

**A** 手話は、障害者基本法において言語として位置づけられ、手話を使用する方にとって意思疎通のための重要な手段である。市民の理解と関心を深めるためにも、手話に関する施策を推進していく必要があると考えている。

### 地域に働きかける学校に！

**Q** 学校は、地域住民の人間関係を広げる力を持っている。学校長はこの力を地域に生かしていく方法を考える時であると思うが、見解を伺う。

**A** 学校は子どもの学びの場というだけでなく地域と人をつなぐ「交流の場」という役割を持っていると考える。周西の丘小学校が新たな校舎でスタートしたことを機に、地域と人をつなぐ役割を改めて認識し、教育活動に生かしていく。



令和新政  
天笠 等 議員

### 介護職員の意欲向上策

**Q** 介護現場で働いている一般介護職員の方に対して、表彰状等を贈呈することは働く方の励みになると思うが、見解を伺う。

**A** 介護の仕事は多岐にわたることから、評価基準の公平性と透明性の確保などが難しいため、介護現場の努力を広く伝える取組などにより表彰制度に代わる形で敬意を表していく。

### ポイント等の付与による市民活動の活性化

**Q** ボランティア活動や市民活動に対してポイントの付与などにより参加意欲を高め、市民交流を促進する取組が必要と考えるが、見解を伺う。

**A** ポイント制度の導入については、諸課題も多いことから、既存の補助金制度の活用や支援する組織が相互に連携することで市民の参加意欲を高め、交流の機会を増やし、ボランティアをはじめとする市民活動の活性化に取り組んでいく。

### 千葉ロッテマリーンズファーム本拠地活用

**Q** 音楽文化の香りするまちづくりの一環として松本ピアノなどをファーム本拠地にて活用してはどうか伺う。

**A** 本市は、松本ピアノのルーツの地であるとともに、合唱なども地域に根づいていることから、野球を中心としつつも音楽イベントやコンサートなど、地域資源を生かした多様な活用を検討し、市民の交流と地域の魅力向上に取り組む。



諸派・日本共産党  
三浦 道雄 議員

### 学校給食費の無償化

**Q** 学校給食費の無償化に関する国の動向をどのように捉えているのか伺う。

**A** 学校給食費の無償化については、自治体の財政状況等により格差が生じていることから、恒久的な制度として国の負担により取り組むべきと考えている。

### 社会保障推進千葉県協議会の要請

**Q** 8月に同協議会のキャラバン要請隊から要請があった内容について伺う。

**A** 物価高騰による市民生活への影響に鑑み、社会保障政策の拡充を本市に要請するとともに、医療・福祉等の関係課職員と懇談を行った。

### CCS（二酸化炭素回収・貯留）事業

**Q** 事業の概要と本市への影響について伺う。

**A** 臨海部の複数企業から排出される二酸化炭素をパイプラインで外房沖の地中深くまで輸送し貯留する構想で、パイプラインのルートは工業専用地域の緑地帯に沿って埋設することから、生活環境への影響はないと考えている。

**Q** 本市で事業者が住民説明会を開催する予定はあるか伺う。

**A** 事業者からは現時点において市内で説明会を行う予定はないと聞いている。



諸派・希望にみらい  
林祥子 議員

### 久留里線の活用品

**Q** 線路を買い取り沿線には菜の花や桜の花などを植え観光列車を運行、第三セクター化、企業に買い取ってもらうなど様々な活性化策や可能性があると考えるが、見解を伺う。

**A** バス交通への転換による利便性を高めるとともに沿線地域の活性化を図ることは重要であると認識している。

### 千葉ロッテマリーンズのリスク管理

**Q** 会社が残っていても球団を手放す場合もあると思う。球団がずっと本市にとどまっている保証はないが、見解を伺う。

**A** 運営会社の都合により球団を手放すことは日本の野球史において事例はあると認識している。球団とは30年を超えても本市にとどまってもらえよう連携を密にしていく。

### 球場跡地の利用

**Q** 土地については原状回復できず農地としては二度と使えないと考える。転用が難しく他に活用がしづらい球場跡地の利用をどのように考えているのか伺う。

**A** 千葉ロッテマリーンズファーム本拠地については都市公園として整備を行うことから、公園としての利用を継続していくものと考えている。

## 委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案等をそれぞれ審査しました。審査概要は次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(4ページ)を参照してください。

### 総務常任委員会



下田 剣吾 委員長

審査案件(議案第4号から議案第7号、議案第12号、議案第13号、議案第15号から議案第17号、議案第19号)

#### 一般職の職員の特殊勤務手当支給条例の改正

**(内容)** 緊急消防援助隊として行う業務またはこれに類すると市長が認める業務に従事したときに支給する緊急消防援助隊等手当を新たに設けるもの。

**問** 出動の種類及び費用負担について伺う。

**答** 出動の種類は消防庁長官からの指示または求めによるもの等があり、費用負担については、出動の指示による場合は国が全額を負担し、出動の求めに応じた場合は全国市町村振興協会が

らの交付金等により支払われる。(全会一致で可決すべきものと決定)

議案第13号

#### 財産の無償譲渡

**(内容)** 旧大和田小学校について、公募型プロポーザルにより優先交渉権者として選定された学校法人タイケン学園に土地及び建物を無償で譲渡しようとするもの。対象の財産は、旧大和田小学校敷地並びに校舎ほか6棟、その他プール等の工作物及び附帯設備で、当該土地及び建物の評価額は約11億円、無償で譲渡する理由は、当該施設を大学として活用し、周辺や市内の学校等と連携することで教育的効果を高めるとともに、若年層の流入による交流や定住人口の増加、地域社会の活性化、教育環境の充実を図るため。利活用の概要は、スポーツ関連学部の運営のほか、タイケン学園側から提案のあった通信制高校の併設を予定している。

市として、契約条項に用途指定の特約を盛り込むことで継続的な学校運営の実現を担保しており、今後、タイケン学園とのさらなる協力関係の構築や地域

住民との調整に努めていく。  
**問** 留学生の受け入れについて伺う。

**答** 現時点では大学においては留学生を受け入れる予定はなく、留学生が多く在籍する別科については設置しない旨をタイケン学園から説明を受けている。

**問** 地域との連携について伺う。

**答** 大学や行政、近隣の小中学校及び高等学校の学校関係者、地域の関係者等で構成する協議体を設置し、協力体制の構築を図っていく。(賛成多数で可決すべきものと決定)

### 教育福祉常任委員会



高橋 健治 委員長

審査案件(議案第8号、議案第9号、議案第14号、議案第16号、議案第18号、陳情第9号)

議案第14号

#### 旧清和公民館解体工事請負契約の締結

**問** 施設用地の賃借料について伺う。

答 本施設は土地を5名から賃借しており、賃借料は評価額を考慮して年間約250万円で、現在、土地の返還に向けて協議を進めている。

(全会一致で可決すべきものと決定)

議案第16号(補正予算)

## 産後ケア事業

問 サービスの利用状況について伺う。

答 8月末現在で既に昨年度実績と同程度の61日分の利用があり、補正額の算定にあたっては、短期入所を25日分、通所型を15日分、居宅訪問を16回分見込んでいる。

(全会一致で可決すべきものと決定)

## 建設経済常任委員会



鈴木高大委員長

審査案件(議案第10号、議案第11号、議案第16号、陳情第7号、陳情第8号)

議案第10号

## 君津市企業立地促進条例の改正

問 立地奨励金の交付期間を5年間から3年間にする理由について伺う。

答 累積投資型立地奨励金と大規模設備投資奨励金に合わせ3年間とするもので、経過措置として施行日より前に対象となった事業に関しては、従前のおり5年間の交付となり、施行日以降に新設されたものについては3年間の交付となる。

(全会一致で可決すべきものと決定)

陳情第7号

## 林地開発に関する陳情書

動議 脱炭素社会実現のため、太陽光発電の普及が必要と考えるが、近隣住民の不安を招くような事業もあると認識しており、国ではトラブル防止のため、ガイドラインを示している。市独自の条例制定はガイドライン以上の厳格化となることから条例制定には慎重を要するが、対策を求めることの趣旨は理解できることから趣旨採択したい。

(全会一致で趣旨採択すべきものと決定)

陳情第8号

## 再生資源物の屋外保管に関する条例の制定を求める陳情

動議 規制の強化に関しては県条例の改正により県全域に適用されることがより適切であると考え、規制強化により良好な住環境の確保を求める陳情者の願意については理解できることから、趣旨採択したい。

(全会一致で趣旨採択すべきものと決定)

# 令和7年度 一般会計補正予算

主な事業を  
紹介します

君津市一般会計補正予算(第4号・第5号)の主な事業は以下のとおりです。

### 第5号

#### 道路橋梁災害復旧 事業ほか

6,211万円

令和7年台風15号の接近により被災した農業施設や道路等の復旧に要する経費を計上します。



### 第4号

#### 財政調整基金積立金

9億7,257万5千円

前年度決算剰余金を財政調整基金に積み立てます。

#### 基幹業務システム 管理運営費

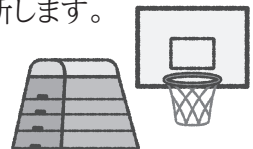
4,210万7千円

基幹業務システム標準化に伴う標準準拠システムの運用業務委託及び同システムでのプリントサービス業務委託を行います。

#### 校舎等維持補修 事業ほか

1,052万4千円

寄附金を活用し、市内小中学校に教育振興のための備品や特別支援教育に係る備品を購入するとともに、周南中学校の屋内運動場に設置されているバスケットゴールを更新します。



# 効果を検証し、 次年度予算へ反映



松本裕次郎委員長

9月9日の本会議において、委員10名からなる決算審査特別委員会が設置され、9月17日から19日の3日間にわたり、令和6年度君津市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに農業集落排水事業会計決算の認定案件5件の審査を行いました。

慎重審査の結果、いずれの案件も全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



## 一般会計

認定第1号

**問** さらなる歳入の確保に向けた取組について伺う。

**答** 滞納処分に関するノウハウの共有により、課全体でのスキルの向上を図ったことや、滞納者の預貯金等の調査に電子化サービス「ピットリンク」を活用した結果、早期の滞納処分が可能となり、差し押さえの件数が増加したことなどにより、市税の徴収率は約98パーセントまで向上している。また、企業版ふるさと納税については、寄附実績のある企業を対象に企業訪問を行うなど、さらなる寄附の確保に取り組んだ。

**問** 「手続きナビゲーションシステム」の概要について伺う。

**答** ホームページ上で必要な手続きが検索できるもので、住所異動や出生、死亡などのライフイベントに関するものやごみの出し方など、九つのメニューを掲載しており、導入費用の二分の一は、デジタル田園都市国家構想交付金を活用したものである。

**問** きみつ赤ちゃん応援パック事業の交流イベントの概要について伺う。

**答** 生涯学習交流センターや公民館子育て支援センターのほか、社宅や民間施設などにおいて計20回開催し、内容は栄養指導やリトミックなどを織り交ぜたもので、好評であることから、今後も参加者の意見を聞きながら継続していきたい。



**問** 不法投棄の通報件数が令和5年度に比べて約4割減少している理由について伺う。

**答** 監視カメラ等の設置場所を工夫し、面的にカメラを配置したことが不法投棄の抑制につながった要因の一つと考えている。

**問** キャッシュレス決済を通じた消費喚起事業の効果について伺う。

**答** 国の臨時交付金を活用し、ポイント還元キャンペーンを行ったもので、キャンペーン中の決済額は4.5億円増で、実施前の月と比べて2.2億円増加している。キャンペーン後に一部の決済事業者が実施したアンケートでは、約6割の店舗で来客数や売り上げが増加したとの回答があり、一定の成果があったと考えている。

**問** 防災アプリの運用状況について伺う。

**答** 利用料は年額76万7,580円、ダウンロード数は令和6年度末時点で、5,294件で、窓口などでの資料配布のほか、市民への災害情報に関するお知らせメールへの併記や広報きみつで特集記事を組むなど、さらなるダウンロード数の増加に向け、アプリの周知に取り組んでいる。

**意見** 防災アプリは費用対効果が高く、情報発信ツールとして有効と考えるので、今後も周知に努め、利用者の増加を図りたい。



認定第2号

## 国民健康保険特別会計

**問** 国民健康保険税の徴収率が予算要求時と比べて上がった要因について伺う。

**答** 納期内納付の徹底や滞納者の預貯金等の調査に電子化サービスを活用したことが徴収率の向上につながったと考えている。

**問** 特定健診受診率の向上に向けた取組について伺う。

**答** 令和6年度は、特定健診未受診者に対し、現在かかっている医療機関で受診できる旨を記載した勧奨はがきを送付することに加え、各種がん検診と併せて特定健診を受診することができるとのコラボ健診を実施するなど、受診率向上に向け取り組んでいく。

### 賛成討論

認定第1号について、経常収支比率が97・5パーセントと平成26年度以来の97パーセント台となっており、財政の硬直化が憂慮される中、市税徴収率の改善や企業版ふるさと納税の獲得をはじめ、自主財源の確保に努めるなど



持続可能な行財政運営に向けた一定の取組がなされたものと理解する。また認定第2号から認定第5号についても適正な執行がなされたものと理解する。

### 委員会の意見を集約し、申し添えました

君津市議会基本条例の規定に基づき議員間討議を行い、9月30日の本会議の委員長報告において、次の事項について、委員会としての意見を申し添えました。

#### 申し添え事項

令和6年度の決算においては、経常収支比率が平成26年度来の97・5パーセントとなり、財政の硬直化が憂慮される状況にある。事務事業総点検や市税徴収率の改善など経営改革実施計画の着実な推進によって、一定の効果が出ているものと理解するが、今後、扶助費をはじめとする経常的経費のさらなる増加が見込まれる中、大規模な事業の実施も予定されていることから経常収支比率の改善は急務であり、将来にわたり持続可能な行財政基盤を確立するため、より一層の経営改革に取り組んでいただきたい。

## Report

## 行政視察研修報告

# 先進地リポート

### 建設経済常任委員会

令和7年7月28日～29日

#### 視察先 静岡県磐田市・静岡市

##### 特産農産物の生産支援について(磐田市)

国産レモンの需要が高まる中、特産品である茶の繁忙期と重ならないことや長い日照時間などに着目し、レモン栽培に適した条件を生かして生産を推進している点が印象的であった。現在締結している大手飲料メーカーとの連携は、市職員の発想と情熱が契機となったもので、農産物の買い手が確保されることにより生産者の安心感につながるとともに、今後の担い手不足対策にも有効と感じる。

##### 農地集約、企業用地確保の取組について(静岡市)

静岡市は東京・名古屋への交通アクセスの利便性から企業の進出意欲は高い一方で可住地面積が約24%と低く、まとまった土地の確保が課題となっている。このため一般財団法人「静岡市土地等利活用推進公社」を設立し、農地集約と企業用地確保を一体的に進め、土地利用の効率化を推進している。行政では進めづらい土地の戦略的な取得を公社を作ることで解決しようとする先進的な取組であると感じた。

### 教育福祉常任委員会

令和7年8月8日

#### 視察先 埼玉県春日部市、草加市

##### 教育環境整備について(春日部市)

避難所とされる体育館への空調設備の整備は喫緊の課題であり、熱中症警戒アラートが頻繁に発表される中、児童が遊ぶことができるよう整備することは、児童の心身を育むうえでも必要であると考え。空調設備の運用にあたって、施設利用者が光熱水費を使用料として負担する仕組みは有効と考え、補助金の活用や優先順位を検討し、体育館への整備を望む。

##### 高齢者福祉について(草加市)

認知症は特に65歳以上で発症リスクが上昇し、85歳以上では4割以上、90歳以上では6割以上が認知症になると推計されている。現在、高齢化が進む本市にとっても、今後取り入れることが望ましい検診の一つと考えるとともに、介護する家族の負担軽減につながる事業についても非常に参考となるものであった。

草加市では高齢者だけの問題とせず、幅広い世代に理解が及ぶよう事業を展開することで、市全体の問題として取り組んでいこうとする姿勢も大変参考となった。

## 君津市国際交流協会30周年式典

10月5日、生涯学習交流センターで君津市国際交流協会30周年式典が開催され、小倉議長をはじめ多くの市議会議員が出席しました。

記念講演では、一般社団法人アフリカ協会特別研究員等を務められている富田嘉孝氏から「国際交流と世界平和」と題して講演をいただいたほか、外国語の歌を歌うコーナーや各国の料理提供などがあり、世界の文化を体験できる場となりました。



## きみつ枝豆収穫祭

10月12日、13日に、市宿地先のほ場で君津市認定農業者協議会主催による枝豆収穫祭が開催されました。

枝豆収穫祭は、小糸川流域を中心に古来から栽培されてきた小糸在来®の枝豆を、荒縄に結わえるだけ収穫し、持ち帰ることのできる体験型のイベントで、今回も大勢の参加者で賑わいました。



## スマートフォン用アプリで「議会だより」をご覧いただけます。

アプリをダウンロードいただくことで、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。 ※いずれもアプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。



Catalog Pocket

- アプリをダウンロードいただいたら、起動して「君津市」と検索してください。
- 「日本語」で読むを選択すると誌面を読むことができます。

Android用  
スマホ・  
タブレット



iOS用  
iPhone・  
iPadなど



マチイロ

- アプリをダウンロードいただいたら、起動して「お住まいの地域」で君津市を選択してください。
- スクラップ機能で範囲を指定して、記事の気になる部分を指定して切り抜き、画像として保存できます。

Android用  
スマホ・  
タブレット



iOS用  
iPhone・  
iPadなど



## きみつ市議会だより編集委員が新しく選任されました

委員長／松本 裕次郎 副委員長／佐藤 葉子  
委員／鶴岡 一成、下田 剣吾、野上 慎治

本号が初めての編集・発行となります。議会の情報をわかりやすくお伝えできるよう、読みやすく、親しみやすい紙面づくりを心がけてまいりますので、引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

令和7年 第4回定例会 11月28日(金) 開会予定です

●発行／令和7年11月1日

●編集／きみつ市議会だより編集委員会 〒299-1192 君津市久保 2-13-1 君津市議会事務局

●TEL 0439-56-1497 ●URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>